

「区の福祉課題及び解決の方向性」に関する意見（抜粋）

行政の縦割り、連携不足、制度の狭間

- ・ 区の総合相談窓口の設置
- ・ 地域ごとの福祉相談窓口の設置
- ・ 分野横断的なワーキンググループによる検討
- ・ 全庁的な連携の強化
- ・ 制度の狭間の問題への柔軟な対応
- ・ 区と社協、民生委員等との一層の連携

コミュニティの希薄化、場の不足、地域課題の多様化

- ・ 誰もが集える場の設置
- ・ 地域の小さなネットワーク作りの仕組み
- ・ 活動や交流の場作り
- ・ 地域作りにはこどもを中心とした行事が効果的
- ・ 多世代交流の場所作りへの支援
- ・ 支えあい活動を行う新たな組織

協働、行政と地域との関わり

- ・ 地域活動に対する行政の後方支援
- ・ 自助・共助に対する公助の関わり方の具体化
- ・ 各地域の区民と区職員とのコミュニケーション
- ・ 地域住民を主体とする相談窓口の設置
→行政への迅速な連携
- ・ 行政のNPO活動等への理解・協力

情報不足、情報共有が困難、個人情報の壁

【情報収集・共有】

- ・ 地域に身近な施設での情報収集
- ・ サービスや制度、施設に関する情報の周知
- ・ 地域連携による支援には個人情報の壁
- ・ 情報弱者への情報提供の工夫
- ・ 支援に必要な個人情報を関係者で共有する仕組み

【ICTの活用】

- ・ 申請や情報収集におけるICTの活用
- ・ 福祉行政のICT化の研究及び積極的な導入
- ・ 地域活動におけるICTの活用

人材不足、担い手の高齢化

【ボランティア】

- ・ 有償ボランティアの活用
- ・ ボランティアの養成体系の一元化
- ・ ボランティア人材と活動マッチング

【職員等の育成】

- ・ 区職員の知識・理解の向上
- ・ 福祉分野に従事する職員の体系的な育成

【事業者・専門職等の確保・活用】

- ・ 地域の専門職を活用する仕組み
- ・ 福祉人材の確保・質の向上

権利擁護の対象増加、制度等の認知不足

- ・ 市民後見人の育成及び活用
- ・ 身寄りのない人の身元保証の仕組み
- ・ 障害者の親亡き後の支援
- ・ 緊急入院等のケースで手続き・金銭管理等の支援

災害時要支援者対策

- ・ 災害時要支援者対策の充実
- ・ 避難訓練等を通じた地域の関係作り
- ・ 福祉避難所の安定的な運営
- ・ 災害ボランティアセンターの設置場所の確保

社会の理解、支援のあり方、まちづくり

- ・ 福祉全般に対する社会の理解促進
- ・ 外国人の福祉のあり方
- ・ 性別や性指向に囚われない対応
- ・ コロナ禍における地域福祉のあり方
- ・ 高齢者や障害者等の活躍の場の提供
- ・ 支援を望まないケースへの対応
- ・ 地域への関心が薄い層への啓発
- ・ バリアフリーのまちづくり
- ・ 移動支援の充実

個別分野の課題

【施設・事業者の確保】など

- ・ 要介護認定調査の受託事業所
- ・ 南部地域における介護サービス事業所
- ・ 児童発達支援事業所
- ・ 医療的ケア児の放課後等デイサービス、短期入所施設
- ・ 児童相談所